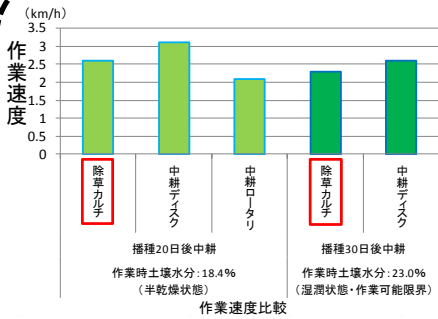


丹波大納言小豆栽培における 除草カルチ機利用法の確立

農林センター

主 旨

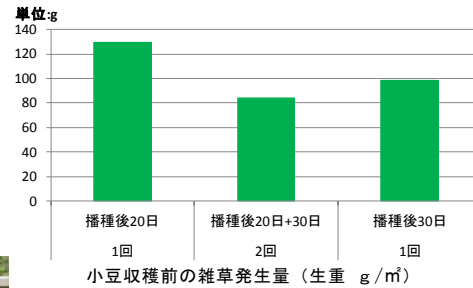
丹波大納言小豆栽培におけるティン式除草カルチ機による中耕除草は、抑草効果が高く、コンバイン収穫作業にも適応性が高い



北海道の小豆栽培で普及しているティン式除草カルチは、土質と気象が異なる京都府でも適用可能です。



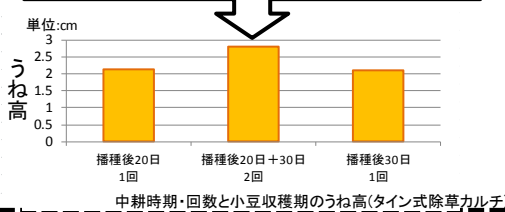
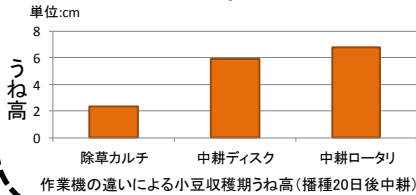
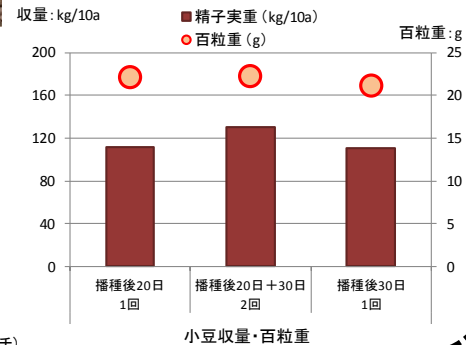
ティン式除草カルチによる中耕除草は、中耕回数が増えてもうね高は大きく変わりません。



1回より播種後20日+30日の2回作業の抑草効果が大きいです。収量・粒も良くなります。

中耕作業速度は、普及している中耕ロータリや中耕ディスクと比較して速く行えます。

ティン式除草カルチによる中耕除草は小豆収穫期のうね高を低く抑えることができ、コンバイン収穫に有利です。



具体的な研究成果

- ・ティン式除草カルチは作業速度が速く、大規模栽培に適用性が高い
- ・抑草効果の高い播種後20日+30日の2回作業が効果的
- ・収穫期のうねが高くならず、コンバイン収穫に有利

研究成果の活用場面、波及効果等

- ・集落営農組織や農業法人など大規模栽培での雑草管理技術として有望です。
- ・小豆をコンバイン収穫する機械収穫体系の経営体が普及対象になります。
- ・生育中期の除草剤が無い小豆で、効果的除草技術として活用が期待できます。